

令和4年度 茨城支部保険者機能強化予算の執行状況について



1. 令和4年度 茨城支部医療費適正化等予算について

分野	区分	取組名	予算額	執行額	執行率	実施状況および経費の調整等
医療費適正化予算	企画部門	ジェネリック医薬品使用割合等の薬局向け情報提供サービスの外部委託	530,200	156,200	29.5%	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関・薬局にジェネリック医薬品使用割合を把握してもらい、後発医薬品使用促進を図ることを目的に、医療機関・薬局ごとの後発医薬品使用割合等を記載した個別の通知（見える化ツール）を各医療機関・薬局に作成し送付。 県内の医療機関503件、保険薬局1,200に送付。
		お薬手帳カバーを活用したジェネリック医薬品の使用促進	2,035,000	1,105,500	54.3%	<ul style="list-style-type: none"> 茨城県薬剤師会と連名で「ジェネリック医薬品を希望します」と明示したお薬手帳カバーを15,000部作成し、取手・龍ヶ崎医療圏と古河・坂東医療圏の薬局に協力依頼を行い、116薬局に配布。
	業務部門	-	-	-	-	-
	合計			2,566,200	1,261,700	49.2%

1. 令和4年度 茨城支部医療費適正化等予算について

分野	区分	取組名	予算額	執行額	執行率	実施状況および経費の調整等	
広報・意見発信	紙媒体による広報	納入告知書同封チラシ作成	1,524,600	1,381,281	90.6%	● 全事業所へ協会けんぽの取り組み内容の広報や制度周知を行った。(毎月)	
		算定基礎事務説明会資料作成	110,000	0	0%	● 新型コロナ感染拡大防止のため開催中止により予算執行なし。	
		合計	1,634,600	1,381,281	84.5%		
	その他の広報	適正受診リーフレット配布	1,540,000	0	0%	● 本部作成の冊子「協会けんぽGIDE BOOK」により適正受診広報を行ったため、予算執行なし。	
		乳児世帯向け上手な医療のかかり方リーフレット配布	2,343,000	1,932,455	82.5%	● 茨城支部の被保険者で新生児が生まれた方に対し、乳幼児の育児と医療情報に関する専門冊子を送付。(毎月)	
		各種メディアを活用した広報	1,804,000	760,000	42.1%	● 保険料率等広報の実施(茨城新聞、商工会議所会報、茨城県広報誌「ひばり」、「中小企業いばらき」(無料掲載)、「茨城商工だより」、「茨城経協」)	
		ジェネリック医薬品の使用促進に向けた広報展開	4,921,400	3,747,700	76.2%	● ジェネリック医薬品使用促進のYouTube動画を活用したYahoo!・YouTube広告、LINE等バナー広告を実施(8月、2月) ● つくばエクスプレス窓上ポスター、茨城交通バス車内広告ポスター(県、健保連との連名)	
		合計	10,608,400	6,440,155	60.7%		
	総計			14,809,200	9,083,136	61.3%	

2. 令和4年度 茨城支部保健事業予算（健診）

分野	区分	取組名	予算額	執行額	執行率	実施状況および経費の調整等
健診経費	健診実施機関実地指導旅費		40,000	0	0%	● 健診実施機関の実地指導（13機関）実施
		県内全市町村にて未受診者（受診漏れ者）健診の実施	2,112,000	2,174,213	102.9%	● 県内3機関と勸奨業務に係る委託契約を締結（健診は集合契約で実施）し、9月～3月にかけて、全44市町村のうち39市町村延べ40,623人に受診勸奨通知を送付
	集団健診	協会独自の集団健診実施	4,053,500	1,434,275	35.4%	● 40歳以上75歳未満の特定健診未受診の被扶養者18,800名に受診案内を送付し1038名が受診、そのうち特定保健指導の対象となった者に対し初回面談を35件実施。
	得	事業者健診結果データ取得勸奨業務	9,352,000	7,405,951	79.2%	● 前年度の生活習慣病予防健診実施率が低く、事業者健診の提供がない5,000事業所に対し、外部委託事業者から文書・電話で受診勸奨・事業者健診結果の提供の勸奨を実施。 ● 結果データ提供にかかる同意書を200事業所以上を取得することができた。
	進	健診推進経費	8,024,000	8,020,375	99.9%	● 生活習慣病予防健診の受診者数、事業者健診データ取得数が目標値を超えた場合の健診機関への報奨金として、それぞれ69機関6,839件、21機関2,854件を対象に支払。 【受診勸奨対策経費から500,000円流用】
	健診受診勸奨等経費	職員による事業所訪問勸奨	99,000	0	0%	● 作成予定だった健康づくりや健康経営関連リーフレットについて他の事業で使用のした資材を活用したため予算執行なし。
		生活習慣病予防健診機による受診勸奨	116,000	0	0%	● 生活習慣病予防健診4機関との間に、受診勸奨に係る業務委託契約（無償）を締結。ITCを活用した説明会を実施したため予算執行なし
		健診・保健指導の受診率向上に向けた漫画リーフレット	2,370,500	3,699,795	156.1%	● 令和5年度生活習慣病予防健診及び特定健康診査の健診内容等を掲載した親しみやすい漫画リーフレットを作成。令和5年度における年次案内及びアウトソースを通じたご案内として活用し、健診受診率の向上を図った。
		次年度特定健診デビュー年齢対象者への受診勸奨	495,000	0	0%	● 39歳被扶養者に対する特定健診の情報提供事業について、コロナ禍の受診控えといった状況を考慮し、実施を見合わせ、年次案内による特定健診のご案内のみとしたため、予算執行なし。
		被扶養者の健診結果データ取得	96,000	0	0%	● 集合契約未参加の健診機関2機関との間に人間ドックを利用した被扶養者の健診結果提供に関する契約を締結したが、結果データの提供実績がなかったため、予算執行なし。
		生活習慣病予防健診予約状況照会サービス	264,000	264,000	100%	● 支部HPからリンクする形で、各健診機関の予約の空き状況が確認できる「生活習慣病予防健診予約状況照会サービス」を実施。当初見込んだアクセス数を大幅に上回り利便性向上に寄与した。
		生活習慣病予防健診再勸奨の実施	1,029,600	696,296	67.6%	● 未受診者が1名以上いる事業所に再勸奨DM(圧着はがき)送付。(33,760件)
		「健診受け方ガイド」(特定健診実施機関一覧)作成	517,000	183,876	35.6%	● 特定健診の受診方法や基本的なQAとともに、特定健診実施機関一覧へ誘導するQRコードとアドレスを掲載した「健診受け方ガイド」を作成(99,500部)し、特定健診受診券の送付時に同封。
		ラッピングバス広告	1,751,600	1,787,393	102%	● 生活習慣病予防健診受診勸奨とジェネリック医薬品使用促進のラッピングバス広告を実施(継続事業)。また、新規デザインを作成し、より訴求力を高めた。
新規適用事業所用の健診案内同封リーフレット作成		151,800	87,560	57.7%	● 新規適用事業所に配布する健診案内に制度周知リーフレットを作成健康保険委員拡大、チラシ4種3000部作製	
ラジオ・新聞広告	9,479,970	8,546,973	90.2%	● 健診、保健指導、重症化予防等を内容に茨城放送でラジオCMを実施(放送回数300回) ● 健診受診勸奨や健康経営等について、新聞各紙やタブロイド紙で広告を掲出。 【コラボヘルス事業経費予算から1,480,000円流用】		
合計			16,370,470	15,265,893	93.3%	

2. 令和4年度 茨城支部保健事業予算（保健指導・重症化予防）

分野	区分	取組名	予算額	執行額	執行率	実施状況および経費の調整等
保健指導経費		中間評価時の血液検査費等の保健指導事務経費	2,950,400	1,317,178	62.2%	<ul style="list-style-type: none"> ● 中間評価時の血液検査費 ● 保健指導用事務用品費 ● 保健指導用データ送料等
		保健指導推進経費	564,300	32,670	5.8%	<ul style="list-style-type: none"> ● 特定保健指導終了者が前年度実績を超えた場合等に報奨金を支払うもので、令和4年度は1機関に対し執行。
		保健指導未実施者に対する生活改善・保健指導受入促進	3,498,000	2,152,700	61.5%	<ul style="list-style-type: none"> ● 特定保健指導対象者で未実施となっている者に対し、文書による生活習慣改善と保健指導利用勧奨を実施。
		共同利用周知チラシの作成	407,550	368,500	90.4%	<ul style="list-style-type: none"> ● 保健指導にあたり事業所にお知らせする個人情報に関する理解促進のため、「共同利用周知チラシ（健診受診者用）」を作成し、生活習慣病予防健診実施機関へ配布。
		合計	7,420,250	3,871,048	52.2%	
分野	区分	取組名	予算額	執行額	執行率	実施状況および経費の調整等
重症化予防事業経費		未治療者受診勧奨	6,001,050	6,118,743	102.0%	<ul style="list-style-type: none"> ● 本部で実施する一次勧奨後、受診予定が確認できない者に対し、毎月外部委託により二次勧奨文書を送付。特に重症域にある者には電話勧奨も実施。 ● 実施件数：文書10,658件 電話勧奨1,558件
		重症化予防対策	3,011,250	1,314,280	43.6%	<ul style="list-style-type: none"> ● 糖尿病性腎症患者への受診勧奨を実施。
		合計	9,012,300	7,433,023	82.5%	

2. 令和4年度 茨城支部保健事業予算（コラボヘルス）

分野	区分	取組名	予算額	執行額	執行率	実施状況および経費の調整等
コラボヘルス事業 経費	コラボヘルス事業	健康測定器貸出	4,840,000	3,291,200	68.0%	● 健康づくり推進事業所の特典として、健康測定機器（血管年齢測定器、骨健康度測定器、ストレス測定器、花年齢測定器）を無料貸出（実施事業所：115社）
		健康経営推進のための講師派遣	3,426,500	1,746,700	51.0%	● 健康づくり推進事業所の特典として、専門家による「出前健康づくり講座」を実施 ① 「健康セミナー」29回 ② 「「お口の健康教室」1回 ③ 「お薬と健康教室」1回 ④ 「メンタルヘルスケア研修」4回
		健康経営推進のための広報	1,249,600	984,500	78.8%	● 健康経営リーフレット改訂版を10,000部作成 ● 茨城新聞「いばらき健康経営推進特集」、「いばらき美味しいおDay特集」への広告掲載 ● 参考として事業所へ配布する健康経営優良法人認定事業所の取り組み事例集の増刷
		禁煙リーフレットの配布	440,000	0	0%	● 広報内容と実施時期、広報対象を絞り切れず、結果的に未実施。
		ワークショップによる 健康経営実践事業所のスキルアップ研修	734,800	0	0%	● 新型コロナ感染症の影響を踏まえ、未実施。
		健康経営セミナー	302,500	0	0%	● 新型コロナ感染症の影響を踏まえ、未実施。
		認定事業所拡大のための案内送付 (追加事業)	-	549,703	-	● 健康づくり推進事業所の認定事業所拡大のため、一定以上健康づくりが進んでいる事業所（649社）に対し、勧奨文書、事業所カルテを送付。
	ツール 情報提供	事業所健康度診断カルテの送付 (追加事業)	-	156,200	-	● 健康リスク改善、健康づくり推進を図るため、健康づくり推進事業所の認定事業所に対して、自事業所の健康度を把握できる事業所カルテを送付。（955社）
合計		10,993,400	6,728,303	61.2%		

2. 令和4年度 茨城支部保健事業予算（その他）

分野	区分	取組名	予算額	執行額	執行率	実施状況および経費の調整等
その他の経費	その他の保健事業	健康イベントへの参加	517,000	0	0.0%	● 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、未実施。
		スマホ用健康アプリを活用した健康づくり事業の推進	110,000	0	0%	● 県のウォーキングアプリ利用促進のリーフレットについて、在庫分に対応できたため、増刷を行わず、予算執行なし。
		動画による保健事業広報	2,090,000	2,090,000	100%	● 生活習慣病予防健診、特定保健指導の周知・理解度向上のため、協会けんぽのPR動画に誘導するYouTube広告・LINE広告を展開、また県内42店舗の調剤薬局にてサインージ広告を配信。 ● 健診機関等に配布する受診勧奨ポスター2,000枚作成
		メタボ予備群に対するメタボ流入阻止(35-39歳)	536,800	307,340	57.3%	● 40歳未満の被保険者のうち、過去3年分の健診データから次回の健診で特定保健指導（メタボリック）該当になる可能性が高い者691名に対し、個別性を重視した生活習慣の改善をアドバイスするリーフレットを送付。
		メタボ予備群に対するメタボ流入阻止(40歳以上)	1,498,200	1,089,660	99.6%	● 40歳以上の被保険者のうち、過去3年分の健診データから次回の健診で特定保健指導（メタボリック）該当になる可能性が高い者2,449名に対し、個別性を重視した生活習慣の改善をアドバイスするリーフレットを送付。
	合計	4,752,000	3,487,000	73.4%		
	保健事業計画アドバイザー経費	-	-	-		
総計		70,175,400	55,822,341	79.5%		